

安全データシート

1. 製品および会社情報

製 品	製 品 名	スモールベルト ジルコニア (Z)	TSB〇〇-#120, 180, 240
	製 品 の 種 類	研磨布	
	用 途	研磨作業に使用	
会社情報	会 社 名	トラスコ中山株式会社	
	住 所	〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号	
	担 当 部 門	P B品質保証課	
	電 話 番 号	0120-509-849	F A X 番号 0120-509-839
	作 成 日	2010年05月13日	改定日 2025年04月01日
整理番号	WAK1088		

2. 危険有害性の要約

- 危 険 性 : 危険性は極めて低い。
- 有 害 性 : 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
- 環 境 影 響 : 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

予防策、応急措置、保管、廃棄については、下記4～8, 13の項を参照。

3. 組成、成分情報

物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化 学 名 : 成分情報表 参照

成 分 及 び 含 有 量 : 研磨布紙成分表 参照 (別紙)

化 学 式 又 は 構 造 式 : 成分情報表 参照

C A S 番 号 : 成分情報表 参照

備 考 欄 : 成分情報については別紙の研磨布紙成分表参照のこと。

使用部成分情報表

名称	化学式又は構造式	C A S 番号	重量割合 (%)
酸化アルミニウム	Al_2O_3	1344-28-1	11～20
酸化ジルコニウム	ZrO_2	1314-23-4	6～15
炭酸カルシウム	$CaCO_3$	471-34-1	1～10
六フッ化アルミン酸三ナトリウム	Na_3AlF_6	13775-53-6	1～10
樹脂硬化物	—	—	21～30
基材 (綿とポリエステル混紡布)	—	—	31～40

4. 応急措置

- 吸 入 し た 場 合 : すぐに新鮮な空気のある場所に移し、必要ならば医師の手当を受ける。
- 皮 膚 に 付 着 し た 場 合 : 作業終了後、石鹸水等で洗い流す。
- 眼 に 入 っ た 場 合 : 粉じんが眼に入ったら直ちに清浄な流水で洗眼する。この時強く押さえたり擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当を受ける。
- 飲 み 込 ん だ 場 合 : 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

- 消 火 方 法 : 燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消 火 剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤等。
- 使 っ て は な ら ない 消 火 剤 : 情報なし。

6. 漏出時の措置

- 人 体 に 対 す る 注 意 事 項 : 粉じんが眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。
- 保 護 具 及 び 緊 急 時 処 理 : 粉じんを収集する場合は保護具(保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。
取り扱った後は手を洗うこと。
- 環 境 に 対 す る 注 意 事 項 : 特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い : 作業中に粉じんが発生するので、局所排気又は全体排気を行なうこと。
- 保 管 : 常温・常湿の所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度 ・ 許 容 濃 度

名称	管理濃度	許容濃度 T L V - T W A
酸化アルミニウム	設定されていない	1 mg/m ³ (呼吸性粒子状物質)
酸化ジルコニウム	設定されていない	設定されていない
炭酸カルシウム	設定されていない	設定されていない
六フッ化アルミン酸三ナトリウム	設定されていない	設定されていない
樹脂硬化物	設定されていない	設定されていない
基材	設定されていない	設定されていない

(注2) 許容濃度はACGIHを参考にした数値である。(気中有害物単独の平均労働日の平均暴露濃度)

- 設 備 対 策 : 粉じん対策として集じん装置を設けること又は必要に応じて全体排気を行うこと。
集じん装置は発生する火花を吸収し火災になる恐れがあるので直接火花を吸収しない対策をすること。

- 保 護 具 : 作業者は次の保護具を着用すること。
- 呼吸器の保護具 : 粉じんの濃度及び法規制に基づいた検定済みの半面又は全面フィルター付きの防じんマスク。
 - 手の保護具 : 耐火花性のある手袋。
 - 目の保護具 : サイドシール付の安全眼鏡または、完全防護形の防じん眼鏡。
 - 保護衣 : 研磨作業中に発生する粉じんと皮膚との接触を避けられるもの。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体	色	: 有色	臭	い : 微ポリマー臭
沸点	: —	可燃性	: —	融点・凝固点	: —
引火点	: —	自然発火点	: —	爆発限界上限	: —
分解温度	: —	pH	: —	下限	: —
動粘性率	: —	溶解度	: —	n-オクタノール/水分配係数	: —
蒸気圧	: —	密度	: —	相対ガス密度	: —
粒子特性	: —				

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 大気中で安定
避けるべき物質	: 知見なし
有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報（人についての症状、疫学的情報を含む）

研磨作業時に発生する粉じんを長期間にわたり吸入すると、じん肺に罹るおそれがある。
構成純物質の有害性情報は別紙参照

12. 環境影響情報

残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
生態毒性	: 研削汚泥を含む研削液が河川に流出すると、水生生物に非常に強い毒性、または長期的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 行政の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。
-------	--

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
国内規制	
陸上規制情報	: 規制なし
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
安全対策	: 水濡れ、梱包ケースの損傷に注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 酸化ジルコニウム (政令番号：令別表第9の13) 六フッ化アルミン酸三ナトリウム (政令番号：規則別表第2の1846)
---------	---

粉じん障害防止規則 : 研磨材を用いて動力（手持式又は可搬式動力工具によるものを除く。）により、岩石、鉱物若しくは金属を研磨し、若しくはばり取りし、又は金属を裁断する作業をする場合

化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法）： 該当しない

16. その他の情報

JIS Z7253:2019対応

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。

危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませので取扱いには充分注意して下さい。

構成純物質のGHS分類・GHSラベル要素

1344-28-1

	酸化アルミニウム
--	----------

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない（分類対象外）
可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
高压ガス	区分に該当しない（分類対象外）
引火性液体	区分に該当しない（分類対象外）
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない（分類対象外）
自然発火性液体	区分に該当しない（分類対象外）
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない（分類対象外）
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	－

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（肺）
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
----------------	--------

構成純物質のGHS分類・GHSラベル要素

1344-28-1

	酸化アルミニウム
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性	-

ラベル要素

絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H335：呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性） H372：長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（肺）

注意書き

安全対策	P260+P261：粉じん／ミストを吸入しないこと。 P264：取扱い後は手をよく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P271：屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
応急措置	P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P312+P314：気分が悪いときは医師に連絡し診断／手当を受けること。

1314-23-4

13775-53-6

酸化ジルコニウム	六フッ化アルミン酸三ナトリウム
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
分類できない	区分に該当しない
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
分類できない	区分に該当しない
分類できない	区分に該当しない
区分に該当しない	区分に該当しない
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
分類できない	分類できない
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
分類できない	分類できない
-	-

分類できない	区分に該当しない
分類できない	分類できない
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）
分類できない	区分4
分類できない	区分に該当しない
分類できない	区分2B
分類できない	分類できない
区分1	分類できない
分類できない	分類できない
分類できない	分類できない
分類できない	分類できない
分類できない	区分2（呼吸器、肝臓）
分類できない	区分1（神経系、骨、歯、肺、肝臓、腎臓、胃）
分類できない	分類できない

分類できない	区分2
--------	-----

1314-23-4

13775-53-6

酸化ジルコニウム	六フッ化アルミン酸三ナトリウム
分類できない	区分2
分類できない	分類できない

	
警告	危険
H317 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	H320 : 眼刺激 H332 : 吸入すると有害 H371 : 臓器の障害のおそれ（呼吸器, 肝臓） H372 : 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（神経系, 骨, 歯, 肺, 肝臓, 腎臓, 胃） H401 : 水生生物に毒性 H411 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

P261 : 粉じん／ミストの吸入を避けること。 P272 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P280 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。	P260+P261 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 P271 : 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 P264 : 取扱い後は手をよく洗うこと。 P270 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P273 : 環境への放出を避けること。 P391 : 漏出物を回収すること
P302+P352 : 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 P321 : 特別な処置が必要である。 P333+P313 : 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。 P362+P364 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。	P304+P340 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P312 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。 P314 : 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。 P305+P351+P338 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 : 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 P308+P311 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。